

2024年3月31日

「犠牲になる裁き主」

あなたのレポートを評価する教授か上司がいると想像してみてください。あなたを評価するその人に愛情が湧きますか。緊張しどろすれば足りないところを隠すことが出来るかを考えることでしょう。なぜなら、彼らはあなたを評価するだけで、あなたのために犠牲になろうとは考えもしていないからです。

私たちは、評価だけをする人には心を開きません。私のために犠牲となってくれる人に心を開きます。ですから、神様が私たちの最終的なさばき主だとしたら、恐くて従うとしても、その方と楽しく交わることはできないでしょう。

しかし、神様は、私たちがご自分との交わりを楽しむことを願われました。それで苦しめられる弱い者の姿で私たちの所に来て下さったのです。主は、ご自分が弱さと恥をまとわれることによって、私たちの心を武装解除させていただきました。私たちがご自分を無視し、あざけっても、気にも留められませんでした。

イエス様が富と力、さばきの権限と栄光だけをもって来られたなら、私たちは従う振りだけをしたことでしょう。イエス様に喜んで従うことも、主の御前に自ら進んでひざまずくこともなかったでしょう。ところが神様は、私たちの心を求められたので、苦しみに会う道を選ばれたのです。私たちが受けるべき裁きをご自分に向けられた、愛のさばき主イエス様。その方に従う私たちを通して、神様の救いを証しするというのが、聖書の約束です。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ 「主を仰ぎ見つつ」

§ 今年の主題聖句

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、
目を離さないでいなさい。」 ヘブル 12章2節
「彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。」 詩篇 34篇5節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

3月31日

本日のメッセージ 「イエス様の復活と回復の恵み」
聖書箇所 ヨハネ 21:1～

ヨハネ 21:12 イエスは彼らに言われた。「さあ、朝の食事をしなさい。」弟子たちは、主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか」とあえて尋ねはしなかった。

21:13 イエスは来てパンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。

21:14 イエスが死人の中からよみがえって、弟子たちにご自分を現されたのは、これですすでに三度目である。

イエス様はご自分を裏切った弟子たちを、十字架の後も、それ以前と変わることなく愛しておられました。

神様が御子イエス様の十字架の死と復活によって成し遂げられた「信じる者に救いを与える神の福音」は全世界に伝えられなければならないものでした。そして、そのためには3年半の間、イエス様と生活を共にして、訓練された彼ら弟子たちを必要としておられました。

ところが、弟子たちは、今のままでは用いることが出来ない状態にありました。それは彼らの心に「主を裏切った」ということによる罪責感と深い挫折感があったのです。

そのような弟子たち、とくにリーダーとなるようにと主に選ばれたペテロを、イエス様はねんごろに取り扱い、彼の心のうちにあった「罪の責め」を解消させ、主ご自身との間に何の妨げるものもない関係を回復してくださいました。そのために、主はガリラヤの浜辺で「**和解の朝食会**」を設けて下さったのです。

【報告】

※ 今週の木曜より、しばらく休んでいました夜の集会を再開します。毎月の第一木曜はイスラエルのためのとりなしの祈り会である「ハイナイト」を、それ以外は「聖書の学び」をいたします。集会は対面を希望しますが当分はオンラインも併用します。

※ 4月14日の長沢先生を招いての特別集会に出席される方は入り口のテーブルにある名簿に名前をご記入下さい。また、長沢先生は午前の礼拝でもメッセージ奉仕をして頂きます。

赦しは天の平和を招きます

赦されず苦しむ人がいる一方、赦せず苦しむ人がいます

赦しを受けるべきなのに、赦されないこと、それほど苦しいことはありません。赦されない人はいつも何か追われながら生活しています。不安と恐れに捕らわれています。いくら良い家で眠り、おいしいものを食べても、その魂は苦しんでいます。

人間は誰でも赦され、また赦さなければなりません。そうした時に心の平和があり、天国があります。

しかし、なぜ赦せないのでしょうか。赦しは罪人である人間の品性ではないからです。赦しは父なる神を受け入れた、新しく生まれ変わったクリスチャンからだけ、見いだせる特別な神様の品性なのです。

まことのクリスチャンのしるしは何でしょう。熱心に教会に出席すること、たくさん献金すること、伝道すること、がしるしでもあり得るでしょう。

しかし、もっとも決定的なしるしは「ゆるす」ことです。

「愛するあなたに」 ハ・ヨンジョ